

微量 PCB を含む廃棄物の焼却実証試験

(平成 22 年 3 月実施分) 結果 環境省



環境省は、平成 22 年 3 月に、2 施設で実施した微量 PCB 汚染物の焼却実証試験の結果を公表しました。

現在、PCB を含有していないと思われていたトランス等の中に、実際には微量の PCB が混入した絶縁油を含むもの(以下、微量 PCB 混入廃電機器等)が大量に存在することが判明しており、これらの処理体制の整備が課題となっています。

そこで、環境省はその整備に向け、現在稼働中の産業廃棄物処理施設等において微量の PCB を含む廃棄物が安全かつ確実に処理できることを確認するため、関連自治体の協力を得て焼却実証試験を実施しています。なお、今後も協力が得られる他の施設において、焼却実証試験を実施していく予定としています。

<平成22年3月に行った実証試験の結果>

施設名	エコシステム秋田株式会社 (秋田県大館市)	神戸環境クリエート株式会社 (兵庫県神戸市)
試験期間	2010年3月9日～11日	2010年3月15日～17日
排ガス濃度 (PCB)	○	○
排ガス濃度 (ダイオキシン類)	○	○
敷地境界大気中濃度 (PCB)	○	○
敷地境界大気中濃度 (ダイオキシン類)	○	○
施設周辺大気中 (PCB)	○	○
施設周辺大気中 (ダイオキシン類)	○	○
処理後の残渣物濃度 (PCB)	○	○
処理後の残渣物濃度 (ダイオキシン類)	*1	○

○: 基準値未満

*1: 固定床炉でのOFケーブル加熱処理後の残渣物(ドラム缶入り)で基準値を上回ったが、それ以外は基準値未満

当社では、絶縁油中の PCB 分析について多くのお客様からご依頼を頂き、多検体、短納期の体制で行っておりますので、是非お任せ下さい。

資料 2010 年 9 月 7 日付 環境省報道発表資料

2010 年 9 月 13 日付 循環経済新聞

クロマト分析箇所 神村悠介

